

5. 生活機能

(1) 医療

①医療資源の集積状況

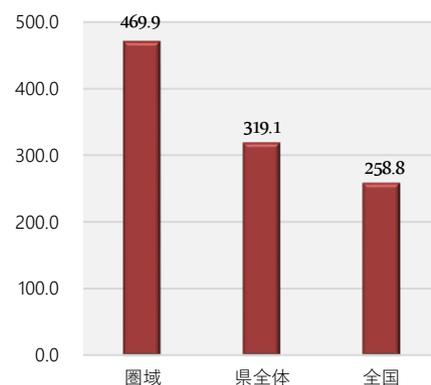
病院、一般診療所、歯科診療所ともに、人口10万人あたりの施設数は福岡県全体や全国を上回るとともに、人口10万人あたりの医師数は469.9人と、全国的にもトップクラスとなっています。

・人口10万人あたり医療機関数



出典) 令和元年医療施設調査

・人口10万人あたり医師数(人)



出典) 平成30年医師・歯科医師・薬剤師統計

②救急医療体制

特に三次救急医療に関しては、聖マリア病院救命救急センターと、九州管内では5箇所のみ(令和3年5月現在)に設置されている高度救命救急センターのひとつ、久留米大学病院において、近隣医療圏を含めた高度な救急医療が提供されています。

小児救急医療では、平成18年4月から、地域の小児科開業医及び関係医療機関の小児科医の協力により聖マリア病院内に久留米広域小児救急センターが開設され、準夜帯(19時~23時)における診療が行われています。

また、久留米広域消防本部における救急搬送時間は平均27.2分で、全国トップレベルを維持しています。

機能	医療機関・施設名称
初期救急医療	久留米医師会/小郡三井医師会/浮羽医師会/大川三瀬医師会
二次救急医療	【久留米市】 楠病院/新古賀病院/聖マリア病院/弥永協立病院/内藤病院/ 久留米大学医療センター/久留米総合病院/久留米リハビリテーション病院/ 古賀病院 21/神代病院/田主丸中央病院/吉村病院/富田病院/ 安本病院/矢野医院
	【大川市】 高木病院/福田病院/足達消化器科整形外科医院
	【小郡市】 嶋田病院/協和病院/聖和記念病院/本間病院/ 新古賀リハビリテーション病院みらい
三次救急医療	久留米大学病院高度救命救急センター/聖マリア病院救命救急センター

機能	医療機関・施設名称
総合周産期母子医療センター	久留米大学病院／聖マリア病院
災害拠点病院	久留米大学病院／聖マリア病院
小児救急	久留米広域小児救急センター

出典)「福岡県救急医療体制表」「医療圏別救急医療体制表」(令和3年4月1日現在)」

- 注)「初期救急医療」は外来診療によって救急患者の医療を担当するもの、
「二次救急医療」は入院治療を必要とする重症救急患者の医療を担当するもの、
「三次救急医療」は複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者の医療を担当するもの、
「総合周産期母子医療センター」は周産期医療体制の中核として地域周産期母子医療センターや地域の分娩施設等と連携を図り、合併症妊娠、胎児・新生児異常等のリスクの高い妊娠に対する医療や高度な新生児医療に対応するほか、他の関係診療科と連携して産科合併症以外の合併症を有する母体にも対応する機能を担うもの、
「災害拠点病院」は地震・津波・台風・噴火等の災害発生時に災害医療を行う医療機関を支援する病院をいう

・久留米広域小児救急センターの受診者数(令和元年度)

久留米市	大川市	小郡市	うきは市	大刀洗町	大木町	その他
3,076人	65人	305人	98人	94人	74人	2,836人
圏域計 3,712人						
総計 6,548人						

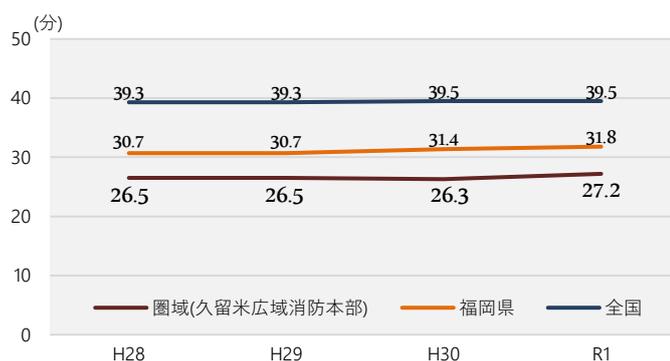
出典)久留米広域市町村圏事務組合資料

・救急活動における搬送人員(令和元年)

久留米市	大川市	小郡市	うきは市	大刀洗町	大木町	その他	合計
13,762人	1,497人	2,271人	1,268人	533人	433人	20人	19,784人

出典)久留米広域消防本部消防年報(令和元年版)
注)暦年の実績

・平均救急搬送時間(入電～病院到着)



出典)久留米広域消防本部「火災・救急・救助概況」

・久留米大学病院高度救命救急センターからのドクターヘリ出動件数(令和2年度)

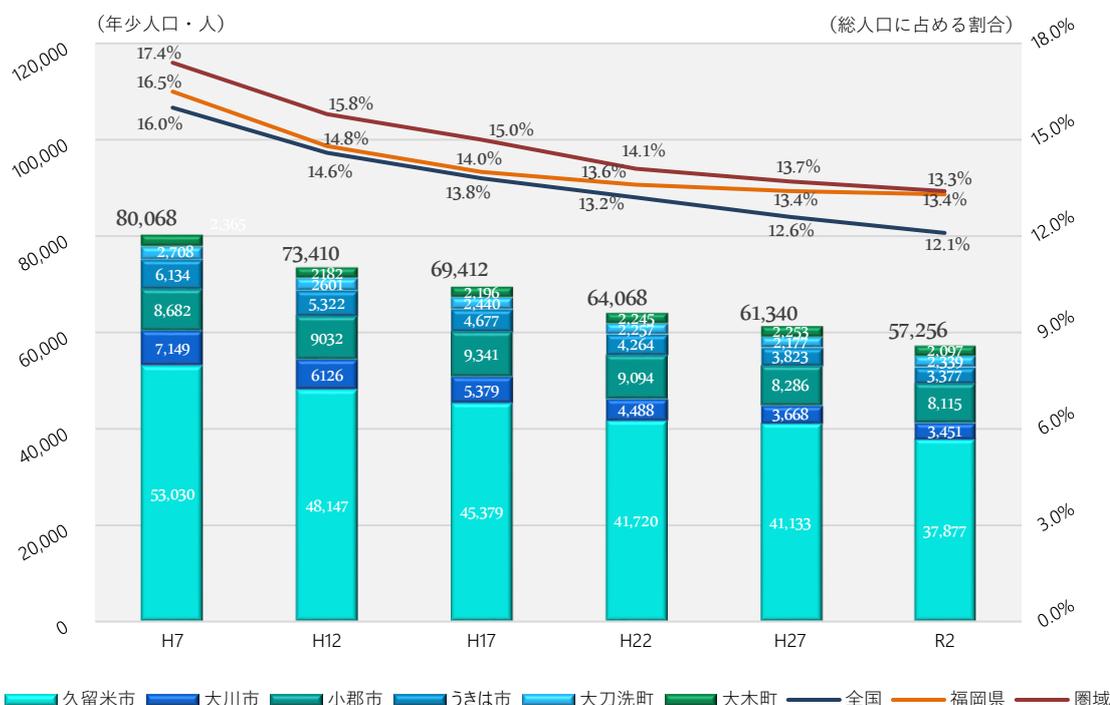
久留米市	大川市	小郡市	うきは市	大刀洗町	大木町	その他	合計
8件	4件	5件	12件	1件	3件	179件	212件

出典)久留米広域消防本部資料

(2) 子育て支援

①年少人口（15歳未満人口）の推移

福岡県全体や全国と同様、圏域の年少人口は減少傾向にあり、25年間で28.5%減少しています。一方、総人口に対する構成比では、全国や県全体を上回っている状況が続いています。



出典) 国勢調査
注) 総人口には年齢不詳を含まない

②保育所等（認可保育所及び幼保連携型認定こども園）施設数

人口あたりの比較では、圏域の施設数は福岡県全体の約1.2倍となっています。

	久留米市	大川市	小郡市	うきは市	大刀洗町	大木町	圏域計	県全体
施設数	75	9	13	9	5	4	115	1,039
0~5歳人口千人あたり	4.6	6.7	4.5	7.6	5.3	5.4	4.9	4.0

出典) 福岡県市町村要覧(R2. 4. 1現在)

注) 人口あたり施設数は、福岡県人口移動調査第2表「市区町村別・年齢別人口」(R2. 4. 1現在)を用いて算定

③圏域における広域的な子育て支援サービス

当圏域では、平成22年度より、病児保育やファミリー・サポート・センター事業、発達支援事業を広域的に実施するとともに、一時保育や地域子育て支援センターの相互利用等を実施し、圏域全体の子育て環境の整備を図っています。

・病児保育施設の開設状況

開設年度	施設名	定員/日
～H27	エンゼルキッズ（久留米市）	4名
	すくすくランド（久留米市）	5名
H28	高邦病児保育室（大川市）	6名
	ハイジア病児保育室（久留米市）	6名
H29	たのっしーランド（久留米市）	4名
H30	マリアン・キッズ・ハウス（久留米市）	6名
計	6施設	31名

・地域子育て支援センター相互利用状況（令和元年度）

利用者 施設所在	久留米市	大川市	小郡市	うきは市	大刀洗町	大木町	計
久留米市		122名	-	372名	20名	18名	532名
大川市	397名		-	-	-	44名	441名
小郡市	圏域他市町計:496名						496名
うきは市	322名	-	-		5名	-	327名
大刀洗町	157名	-	207名	-		-	364名
大木町	45名	17名	-	-	-		62名
						計	2,222名

(3) 公共交通

鉄道では九州新幹線を含む6路線を有し、また、主に久留米市中心市街地からの放射状の路線バス網が形成されています。一方で、公共交通サービスを享受しづらい公共交通空白地等が広範囲にわたり存在しています。乗降客数では、鉄道・路線バスともに、ほぼ横ばいの状況が続いています。

①各鉄道路線と乗降客数の推移（1日あたり・人）

路線		H27	H28	H29	H30	R1	増減(H27-R1)
JR九州	鹿児島本線・九州新幹線	18,280	18,450	18,870	19,030	18,480	1.1%
	久大本線	9,060	9,110	9,060	9,030	8,990	▲0.1%
西鉄	天神大牟田線	84,860	84,540	84,830	85,870	84,730	▲0.2%
	甘木線	5,280	5,420	5,170	5,150	5,100	▲3.4%
甘木鉄道		3,500	3,520	3,520	3,500	3,440	▲1.7%
計		120,980	121,130	121,450	122,580	120,740	▲0.2%

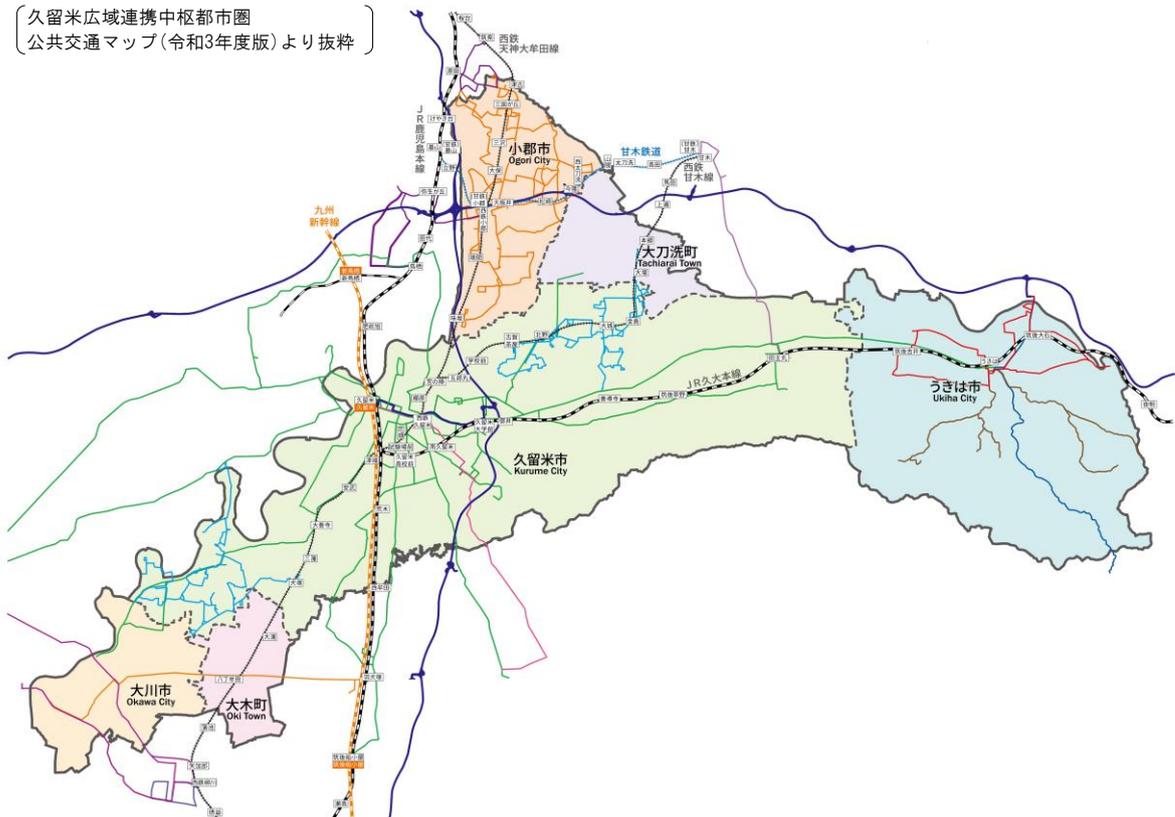
②久留米市内の路線バス乗降客数（年間・千人）

H27	H28	H29	H30	R1	増減(H27-R1)
9,702	9,770	9,890	9,896	9,662	▲0.4%

出典) ①②:各事業者資料
注) ①は年度、②は暦年の集計による

③公共交通網の状況

〔久留米広域連携中枢都市圏
公共交通マップ(令和3年度版)より抜粋〕



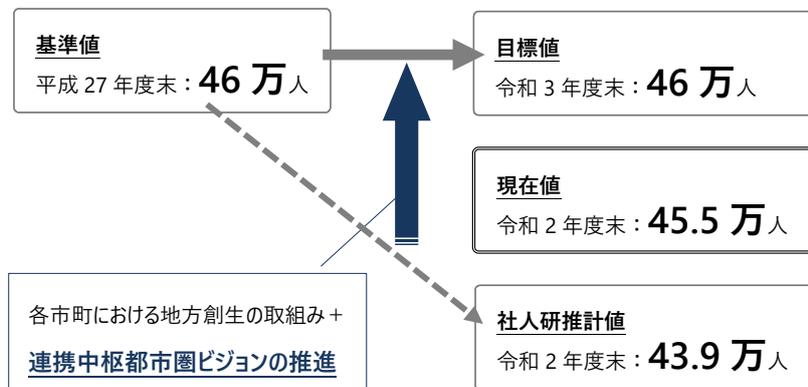
6. 第1期ビジョンの成果と課題

(1) 目標人口をふまえた評価

国立社会保障・人口問題研究所の推計（平成25年推計）では、本圏域の人口は、平成32（令和2）年度末には43.9万人まで減少する見込みとされていました。

こうした中、第1期ビジョンの中では、各市町において地方創生の取組みを推進するとともに、連携して圏域の活性化に向けた施策を展開することにより、各市町の人口ビジョン目標値を合計した46万人の維持を図るという目標を設定しました。

これに対し、令和2年度末における圏域人口は45.5万人であり、目標値である46万人は下回っているものの、推計値との比較では一定の成果を得ていると考えられます。



実績年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2/H27
圏域総人口(人)	461,401	460,852	459,410	457,888	456,922	455,468	98.7%
久留米市	305,993	306,211	305,581	304,703	304,705	304,079	99.4%
大川市	35,538	35,068	34,586	34,207	33,730	33,241	93.5%
小郡市	59,151	59,257	59,368	59,527	59,578	59,592	100.7%
うきは市	30,823	30,450	30,010	29,572	29,059	28,724	93.2%
大刀洗町	15,474	15,552	15,567	15,659	15,670	15,807	102.2%
大木町	14,422	14,314	14,298	14,220	14,180	14,025	97.2%
(参考)福岡県(人)	5,094,186	5,098,153	5,099,604	5,099,225	5,101,947	5,113,471	100.4%
九州(人)	13,170,892	13,119,903	13,069,286	13,012,966	12,951,578	12,884,354	97.8%
全国(千人)	128,066	127,907	127,707	127,444	127,138	126,654	98.9%

出典) 圏域及び福岡県：福岡県住民基本台帳月報(各年度末日)
九州及び全国：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(各年度1月1日)

(2) KPI (重要業績評価指標) の達成状況と成果、課題

第1期ビジョンでは、全体で25のKPIを設定し、「圏域全体の経済成長のけん引」「高次の都市機能の集積・強化」「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の各分野において、様々な連携事業を展開してきました。各KPIの達成状況と施策分野ごとの主な成果と課題は次のとおりです。

1. 圏域全体の経済成長のけん引分野						
産学金官民が一体となった圏域の経済成長等推進体制の整備						
KPI①	連携施策の成果指標達成率					
基準値⇄目標値	無し (H27) ⇄ 100% (R3)					
達成状況	55.0% (R2) 達成度:×					
	施策分野	達成度(※)	○	△	×	合計
	圏域全体の経済成長のけん引	4(50.0%)	1(12.5%)	3(37.5%)	8	
	高次の都市機能の集積・強化	1(25.0%)	0(0.0%)	3(75.0%)	4	
	生活関連機能サービスの向上	6(75.0%)	0(0.0%)	2(25.0%)	8	
合計	11(55.0%)	1(5.0%)	8(40.0%)	20		
<R1参考>	16(66.7%)	4(16.7%)	4(16.7%)	24		
注)R2年度の実績が未確定及び事業終了等により計測不能の4項目を除いて算出 注)達成度基準 ○:達成できている(成果指標に対し年度実績値が100%以上) △:概ね達成できている(同100%未満~70%以上) ×:達成できていない(同70%未満)						
地域資源を活用した地域経済の裾野拡大						
KPI②	アンテナショップ来館者数					
基準値⇄目標値	無し (H27) ⇄ 25万人/年 (R3)					
達成状況	実績なし (R2) <R1参考:16.6万人(年換算)> ※R1.7.31に閉館					
KPI③	合同会社説明会参加者数					
基準値⇄目標値	84人/年 (H27) ⇄ 200人/年 (R3)					
達成状況	209人/年 (R2) < R1参考:183人> 達成度:○					
KPI④	見本市での商談件数					
基準値⇄目標値	49件/年 (H27) ⇄ 60件/年 (R3)					
達成状況	実績なし (R2) <R1参考:6件> ※感染症拡大防止のため商談の機会を持たず、「農商工連携ビジネス研修会」をオンライン開催。					
KPI⑤	物産展来客数					
基準値⇄目標値	9,500人/日 (H27) ⇄ 12,000人/日 (R3)					
達成状況	6,200人/日 (R2) <R1参考:15,900人/日> 達成度:× ※新型コロナウイルス感染症の影響による出展機会と来場者の減による					
地域産業の育成						
KPI⑥	創業に係る相談件数					
基準値⇄目標値	109件/年 (H27) ⇄ 300件/年 (R3)					
達成状況	520件 (R2) <R1参考:348件> 達成度:○					
KPI⑦	異分野異業種新連携事業数					
基準値⇄目標値	- (H27) ⇄ 10件/年 (R3)					
達成状況	7件/年 (R2) <R1参考:10件> 達成度:△					
KPI⑧	地域産業基盤強化事業における製品化件数					
基準値⇄目標値	1件/年 (H27) ⇄ 20件/6年 (H28からR3までの累計)					
達成状況	25件 (H28~R2) <H28~R1参考:16件> 達成度:○					

KPI⑨	広域商談会への参加受注企業数
基準値⇄目標値	82社/年 (H27) ⇄ 110 社/年 (R3)
達成状況	実績なし (R2) <R1参考:89社> ※中小機械金属製造業等を対象に「久留米オンライン商談会」を試行開催、14企業が参加
KPI⑩	共通フォーマットによる公開データ数
基準値⇄目標値	- (H28) ⇄ 25 データ/5年 (H29からR3までの累計)
達成状況	20 データ/4年 (H29~R2) <~R1参考:15データ> 達成度:○
戦略的な観光の推進	
KPI⑪	圏域における観光入込客数
基準値⇄目標値	8,714千人/年 (H26) ⇄ 10,500 千人/年 (R3) ※暦年値
達成状況	6,726 千人 (R2) <R1参考:10,558千人> 達成度:× ※新型コロナウイルス感染症の影響による
KPI⑫	圏域における直接消費額
基準値⇄目標値	16,621百万円/年 (H26) ⇄ 20,000 百万円/年 (R3) ※暦年値
達成状況	13,529 百万円 (R2) <R1参考:20,240百万円> 達成度:× ※新型コロナウイルス感染症の影響による
分野における成果と課題	
【主な成果】	
<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援施設(創業ロケット)の積極活用による、圏域内外からの創業相談件数の大幅増加 ・新産業団地整備事業において、久留米・うきは工業団地の分譲を開始し、(株)資生堂等の立地が決定 ・観光入込客数・消費額の順調な増加 (ただし、新型コロナウイルス感染症影響前) 	
【主な課題】	
<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等における圏域の情報発信について、新型コロナウイルス感染症の影響をふまえながら、目的や期待する効果に応じた新たな取組みを検討することが必要 ・ウィズコロナの中での観光誘客やMICE誘致のあり方に留意しながら各事業を推進することが必要 	
2. 高次の都市機能の集積・強化分野	
圏域全体の賑わいづくり	
KPI⑬	久留米シティプラザ年間来館者数
基準値⇄目標値	- (H27) ⇄ 612,800 人/年 (R3)
達成状況	120,370 人/年 (R2) <R1参考:520,254人> 達成度:× ※新型コロナウイルス感染症の影響による閉館や事業中止による減
高度な医療サービスの提供	
KPI⑭	くろめ診療情報ネットワーク ①参加医療機関数 ②登録患者数
基準値⇄目標値	①126施設 ②7,365人 (H27) ⇄ ① 150 施設 ② 10,000 人 (R3)
達成状況	① 272 施設 ② 18,309 人 (R2) 達成度:○
文化芸術に触れる機会の提供	
KPI⑮	美術鑑賞事業に参加した学校数
基準値⇄目標値	17校/年 (H27) ⇄ 30 校/年 (R3)
達成状況	17 校/年 (R2) <R1参考:17校> 達成度:×
KPI⑯	久留米シティプラザにおける圏域対象年間先行発売公演数
基準値⇄目標値	- (H27) ⇄ 3 件/年 (R3)
達成状況	2 件/年 (R2) <R1参考:0件> 達成度:×
分野における成果と課題	
【主な成果】	
<ul style="list-style-type: none"> ・くろめ診療情報ネットワーク(アザレアネット)について、参加医療機関・登録患者の増加 	
【主な課題】	
<ul style="list-style-type: none"> ・久留米市が持つ都市機能を圏域全体で共有できるような取組みの一層の強化が必要 ・久留米シティプラザへの、さらなる圏域住民の来館促進が必要 ・小中学校を対象とした鑑賞事業においては、学校カリキュラムとの調整等が困難 	

3. 圏域全体の生活関連機能サービスの向上分野（生活機能の強化・結びつきやネットワークの強化・圏域マネジメントの強化）

地域医療

KPI⑰	365日の切れ目ない病院群輪番制の運用
基準値⇄目標値	365日切れ目ない運用（H27）⇄365日 切れ目ない 運用（R3）
達成状況	切れ目なく 輪番制を運用（R2）<R1参考:R2に同じ> 達成度:○
KPI⑱	365日の切れ目ない広域小児救急センターの開設
基準値⇄目標値	365日切れ目ない開設（H27）⇄365日 切れ目ない 開設（R3）
達成状況	切れ目なく センターを開設（R2）<R1参考:R2に同じ> 達成度:○

子育て支援

KPI⑲	病児保育施設定員
基準値⇄目標値	15人/日（H27）⇄ 21 人/日（R3）
達成状況	31 人/日（R2）<R1参考:31人/日> 達成度:○
KPI⑳	地域子育て支援センター相互利用延べ利用者数
基準値⇄目標値	1,579人/年（H26）⇄ 1,750 人/年（R3）
達成状況	315 人/年（R2）<R1参考:315人/日> 達成度:× ※新型コロナウイルス感染症の影響による閉館や利用者数制限等による減

地域振興

KPI㉑	圏域における観光入込客数（再掲）
基準値⇄目標値	8,714千人/年（H26）⇄ 10,500 千人/年（R3） ※暦年値
達成状況	6,726 千人（R2）<R1参考:10,558千人> 達成度:× ※新型コロナウイルス感染症の影響による

地域公共交通

KPI㉒	鉄道乗降者数（圏域）
基準値⇄目標値	117,486人/日（H26）⇄H26年度の乗降者数を 維持 （R3）
達成状況	120,732 人（R1）<H30参考:120,793千人> 達成度:○
KPI㉓	路線バス乗降者数（久留米市）
基準値⇄目標値	9,638千人/年（H26）⇄H26年の乗降客数を 維持 （R3） ※暦年値
達成状況	9,662 人（R1）<H30参考:9,896千人> 達成度:○

地域内外の住民との交流・移住促進

KPI㉔	圏域への移住に興味があると思うイベント参加者の割合(参加者アンケートの結果)
基準値⇄目標値	-（H27）⇄ 80% （R3）
達成状況	実績なし（R2）<R1参考:89%> ※新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント実施が無かったため、計測不可

効率的な行財政の運営及び人材の育成・確保

KPI㉕	講演会及び研修会等への連携市町延べ参加数
基準値⇄目標値	326名/5年（H22～26年度累計）⇄ 451 名/6年（H28～R3年度累計）
達成状況	427 人（H28～R2累計）<~R1参考:400人> 達成度:○

圏域全体の生活関連機能サービスの向上分野

【主な成果】

- ・病児保育施設の新設や定員拡大、広域受入開始
- ・子育て支援センター相互利用者の大幅増加（ただし、新型コロナウイルス感染症影響前）
- ・公共交通利用者数の維持
- ・移住促進事業について、圏域の魅力を都市圏の住民に知ってもらう機会の創出
- ・電力入札連携事業において、連携市町において市町で計5億円(R2年度)の効果
- ・久留米市が開催する講演会・研修会への圏域職員の参加者数の拡大

【主な課題】

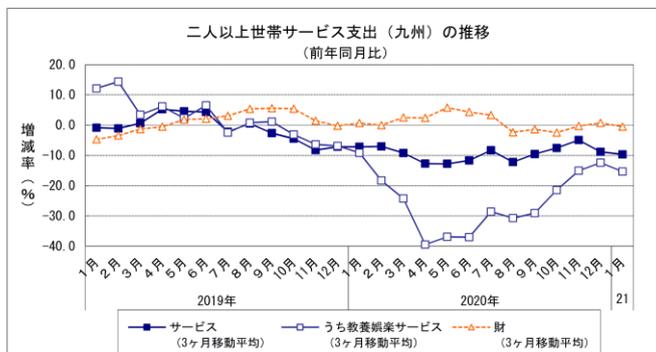
- ・引き続き、持続可能な効率的で利便性の高い交通ネットワークの構築が必要
- ・ウィズコロナ・アフターコロナに応じた移住促進の方向性や、圏域の魅力を継続して発信できるような事業のあり方を検討する必要
- ・各専門分野における情報交換や業務ノウハウ共有の場のさらなる充実が必要

7. 圏域を取り巻く環境

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響

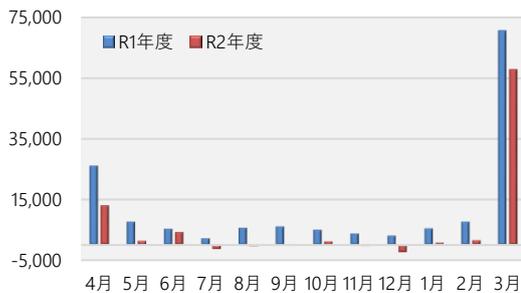
令和2年以降、当圏域を含む福岡県には複数回にわたり緊急事態宣言が発出されるなど、新型コロナウイルス感染症は圏域の医療体制や住民生活、経済活動等に大きな影響を及ぼしており、これらの影響は長期化することが予想されます。

また、ウィズコロナの中での「新しい生活様式」の実践を経て、社会は大きな変化を迎えています。この中では、大都市圏における転出入状況などをふまえた「コロナ禍を契機とした地方回帰」（九州地方知事会資料より）の動きや、在宅勤務やワーケーションといった働き方の多様化も注目されています。

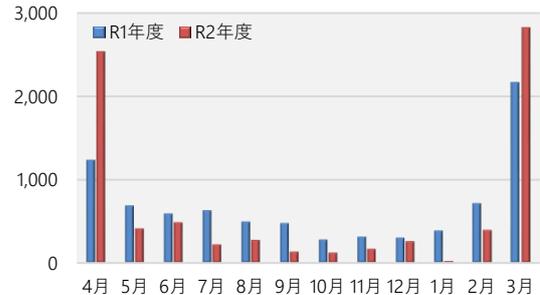


出典)福岡県「県内経済の動向-令和3年4月-」

・東京圏の転入超過数



・福岡市の転入超過数



出典)住民基本台帳人口移動報告月報
注)「東京圏」は、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県をいう

(2) デジタル化とDXの加速

国では、Society5.0(※)時代における次世代型行政サービスとしてデジタル化とDX(デジタル・トランスフォーメーション)を進めており、また、新型コロナウイルス対応を契機としてそれらの取組の重要性と加速化の必要性を認識しています。

こうした中、国は、令和2年度に「自治体DX推進計画」を策定し、行政サービスにおけるデジタル技術やデータを活用した住民の利便性向上、デジタル技術やAI等の活用で業務効率化を図り、行政サービスの向上に繋げていくことを自治体に求めています。

(3) 脱炭素社会に向けた取組の加速

国は、令和2年10月に「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

地方自治体においても、地域の脱炭素化を先導していく必要があります。「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明した「ゼロカーボンシティ」は、当圏域の久留米市と大木町を含む419自治体(令和3年7月現在)となっており、人口規模で1億人を超えています。今後、地域の脱炭素社会の実現のため、行政、市民、事業者など地域のあらゆる主体が連携して、共通の理念・目標のもとに取り組んでいくことが求められています。

(4) 自然災害の激甚化・頻発化

「令和2年度版防災白書」では、近年の気候変動により、1時間降水量50ミリ以上の短時間強雨の発生頻度が、昭和51年からの10年間と直近の10年間を比較すると約1.4倍に増加しており、今世紀末にはさらに2倍以上になる可能性が指摘されています。

筑後川水系を共有する当圏域でも、平成29年7月九州北部豪雨や平成30年7月豪雨、令和元年8月の大雨、令和2年7月豪雨、令和3年8月の大雨により5年連続で重大な被害が発生しています。